

税理士が語る、経営者が知るべき経理・総務のツボ(第74回)

「税務大学校」とはどのようなところか

2022.07.08

逮捕された新米税務職員



新型コロナウイルス対策の「持続化給付金」約2億円をだまし取ったとして、男女7人が逮捕された詐欺事件では、確定申告書を偽造する役割を担当していた東京国税局鶴見署の現役職員である塚本晃平被告(24)と熊本の小中学校の同級生で、税務大学校でも同期だった元職員の中村上総被告(24)が含まれていました。マスコミ報道の中では、「税務大学校」という単語が出てきました。

塚本被告は2017年高校卒業後、専門学校を経て2018年に東京国税局に採用。普通科77期。税務大学校卒業後に、2019年7月～2021年6月まで藤沢税務署徴収部門、同年7月から鶴見税務署徴収部門という経歴です。つまり、税務大学校で約1年を過ごし、現場である税務署勤務は3年目ということになります。詐欺グループの中での役割は、確定申告に関する業務を担当していたようですが、経歴からすると税務署では確定申告書作成業務にタッチしていませんでした。おそらく、税務大学校で知識を身に付けたのでしょう。「税務大学校」というのは、一般の人からするとなじみがありません。そこで、国税庁の研修機関である税務大学校について紹介します。

始めに、国税庁においては、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことを使命とし、「内国税の適正かつ公平な賦課および徴収の実現」を主たる任務としています。この使命および任務を遂行できるように必要な研修を行う役割を税務大学校が担っています。税務大学校では、国家公務員である税務職員に対してそのときどきに応じて必要とされる、さまざまな研修や海外の税務当局職員に対する国際研修などを行います。また、一般向けの公開講座が開かれる場合もあります。所在地は、東京・霞が関にある本校の事務室、埼玉県和光市にある和光校舎以外に、東京研修所、名古屋研修所、大阪研修所など、全国に12の地方研修所があります。ここで行われる主な研修をいくつか紹介します。

税務大学校の研修とは… 続きを読む